

各位

2023年10月3日
会社名 のむら産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清川悦男
(コード番号：7131 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 西澤賢治
(TEL 042-497-6191)

2023年10月期 第3四半期 決算補足資料

この質疑応答集は、2023年9月13日に発表いたしました2023年10月期 第3四半期決算について、当社で想定していました質問および発表以降に株主、投資家などの方々から頂いたお問い合わせや感想の内容と、それに対する当社からの回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

Q1 | 第3Qまで業績好調な要因を、詳しく教えてください。

A | 売上面では、包装関連では、包装資材が堅調なことに加え、包装機械の売上が増えたことが要因です。包装機械は、昨年来の部品不足の懸念を受けて顧客の早期発注傾向が高まっております。良好に積み上がった受注をしっかりと業績に繋げられた結果となっております。利益面においては、様々な見直しを継続的に行ったコスト低減策が寄与しております。また、期初計画に比べ、上期の為替が好影響となっている物流梱包事業で収益が確保できている部分も利益増の要因となっております。

Q2 | 通期業績予想を上方修正されましたが、修正計画値に対しても利益面の進捗は、すでに9割近くになっています。利益面の修正値について、考え方を教えてください。また、第4Qで利益率が下がるように見えますが、この要因についても教えてください。

A | 前提として、確実に達成できる修正値にしており、第4Qもできるだけ業績の上積みを目指してまいります。また、第4Qの利益率においては、来期以降の成長に向けた一定の費用等を考慮した結果、第3Qまでと比較して利益率が下がる見込みをしております。

Q3 | 今回の通期業績予想の修正により、今期の営業利益は4億円となり、中期経営計画における2024年10月期の計画値を上回っております。来期以降もこの業績トレンドが続くか、中期経営計画の上方見直しがあるかを教えてください。

A | 今期は、第3Qまで、外部要因、内部要因ともプラス面に作用したことが多く、好調な業績推移となっております。今後も、このトレンドが継続するように取り組んでまいります。現段階では、中計の2025年売上73.8億円、営業利益4.5億円の目標達成を軸に、事業拡大に邁進してまいります。

Q4 | 期末配当予想を増額修正し、前期比で増配の計画に変更されました。今後の株主還元方針を確認させてください。

A | 当社では、連結配当性向の目途を25%としておりますので、株主様へは、当期純利益の増減を踏まえた配当を行って参りたいと考えております。

Q5 | 決算説明会資料にも記載のある環境配慮型商品とはどのようなものでしょうか。

A | バイオマス素材を30%使用した米袋の導入に加え、プラスチックに炭酸カルシウムなど無機物を約30%配合し作られた、紙でもバイオでもない石灰石原料を使用した新しい米袋を販売するなど、環境に配慮した取り組みを行っております。

以上